

問1 四国地方に位置するある県は、2016年の統計においてレモンの収穫量が全国の20.8%を占めており、広島県に次いで国内第2位の産地となっています。この県として正しい名称を答えなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 香川県

2. 高知県

3. 徳島県

4. 愛媛県

問2 日本海側の鳥取、瀬戸内沿岸の高松、太平洋側の高知の三都市における雨温図の統計を比較した際、高松の降水量が他の二都市に比べて著しく少なくなる理由を、周辺の地形的特徴に触れて述べたものを選びなさい。 (2020年 島根県公立入試 類似)

1. 高松は標高の高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、周辺の都市に比べて上昇気流が発生しにくく、常に乾燥した下降気流にさらされるため。

2. 太平洋からくる湿った空気が四国山地で雨を降らせた後、高松を通り越してさらに北にある鳥取付近で再び雨を降らせるという循環構造があるため。

3. 日本海から吹き込む冬の季節風が中国山地を越える際に水分を失い、さらに四国山地を越える際に温められることで高松周辺の雨雲が消滅するため。

4. 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくい。

問3 日本の主な工業地域・地帯における製品出荷額の内訳を示した統計において、機械類の割合が約3割にとどまる一方で、化学工業が約2割、金属工業が1割強を占め、他の工業地域に比べて化学や金属などの基礎素材産業の割合が高い特徴を持つ工業地域はどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

1. 阪神工業地帯

2. 北九州工業地域

3. 瀬戸内工業地域

4. 中京工業地帯

問4 四国地方に位置する徳島県の統計では、年間商品販売額が1999年の約2兆1千億円をピークに、2014年には約1兆3千億円まで減少しています。本州四国連絡橋の整備が進んだ時期に、このような統計結果が見られるようになった背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. 交通網の整備により県外からの人口流入が急増し、供給過多となって地元の商店が競争に敗れたため。

2. 交通網の整備によって物流のコストが下がり、地元で販売される商品の価格が全体的に安くなったため。

3. 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。

4. 交通網の利便性が高まった結果、地元の住民が買い物よりも観光に時間を割くようになり、消費が分散したため。

問5 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県 (22,047)、広島県 (18,155)、香川県 (12,269) となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

1. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。

2. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。

3. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。

4. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダム の代わりとして整備されたため。

問6 日本の諸地域のうち、四国地方の都市とその特徴について述べた文として、高松市の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、野菜の促成栽培が盛んに行われている高知県の県庁所在地である。

2. 四国地方で最大の人口を抱え、古くからの温泉や城下町としての歴史を持つ愛媛県の県庁所在地である。

3. 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。

4. 明石海峡大橋を通じて兵庫県と結ばれており、四国東部の交通の拠点となっている徳島県の県庁所在地である。

問7 中国・四国地方の農業産出額の内訳を比較した際、愛媛県ではかんきつ類の生産が盛んなため「果実」の割合が非常に高いという特徴があります。これに対し、高知県の農業産出額の構成において最も大きな割合を占め、約4割に達している部門はどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

1. 果実

2. 畜産

3. 野菜

4. 米

問8 地形図上に引かれた二地点間の高低差を垂直方向の断面で示したものを断面図といいます。標高332.4mの高尾山があるA点から、等高線のほとんどない境港港付近のB点に向かって直線を引いたとき、その直線上における地形の断面の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)

1. A点付近は平坦な土地が広がり、B点に近づくにつれて標高が高く斜面が急になる。

2. A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくにつれて標高が下がり平坦になる。

3. A点からB点まで、標高の変化がほとんど見られない一定の高さの台地が続く。

4. A点からB点に向かって、中央部が大きく凹んだ盆地のような形状が続く。

問9 本州四国連絡橋 (瀬戸大橋) の開通に関連して、交通の高速化が社会にもたらした仕組みや背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

1. 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。

2. 瀬戸内海沿岸に新しい工業団地を造成するために、橋の橋脚を利用した大規模な水力発電所の建設が行われた。

3. フェリーによる海上輸送を完全に廃止し、すべての物流を鉄道輸送に一本化することを目的として建設された。

4. 橋の建設に合わせて周辺の海域がすべて埋め立てられたため、四国地方の深刻な水不足が解消されるきっかけとなった。

問10 高速交通網の整備によって地方と大都市の間の移動が容易になった結果、地方の住民が買い物などのために大都市へ流出し、地元の商業活動が衰退してしまう現象を何といいますか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. ヒートアイランド現象

2. ストロー現象

3. スプロール現象

4. ドーナツ化現象

問11 香川県高松市の年間降水量は約1080mmであり、日本海側の鳥取市 (約1910mm) や太平洋側の高知市 (約2550mm) と比べて非常に少なくなっています。このように、瀬戸内地方で年間を通じて降水量が少なくなる地形的・気象的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

1. 周辺に高い山地がないため、湿った空気が雨を降らせることなく通過してしまうため。

2. 暖流である日本海流の影響により、沿岸部の気温が上昇して乾燥した空気が停滞するため。

3. 緯度が低いために蒸散作用が激しく、雲が発達する前に水分が消失してしまうため。

4. 冬の季節風が中国山地に、夏の季節風が四国山地によってさえぎられるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 愛媛県	愛媛県は、瀬戸内海に面した温暖な気候と、日当たりの良い傾斜地が多いという地形的条件を活かし、古くから柑橘類の栽培が盛んに行われてきました。みかんの主要産地として知られていますが、近年ではレモンの生産量でも全国上位に位置しており、広島県と共に国内の主要な産地を形成しています。
問2	答え 4 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくい ため。	日本の気候は、季節風が山地を越える際にその山脈の風上側に雨や雪を降らせる特徴があります。日本海側の都市は冬に、太平洋側の都市は夏や台風時に降水量が増加しますが、中国地方から四国地方へ南北に横断する地形を見ると、高松は二つの高い山地の中間に位置しています。このため、どちらの季節からの湿った空気も遮断され、降水量が抑えられる結果となります。
問3	答え 3 瀬戸内工業地域	瀬戸内工業地域は、高度経済成長期に整備された石油化学コンビナートや製鉄所が現在も大きな役割を果たしています。自動車産業が圧倒的なシェアを占める中京工業地帯（機械が約7割）などと比較すると、化学工業や金属工業といった重化学工業の割合が高いことが、出荷額の内訳における大きな特色となっています。
問4	答え 3 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物を するようになったため。	交通網の整備は本来、地域経済の活性化を期待して行われますが、徳島県のように大都市圏（関西方面）に近い地域では、住民が大都市へ容易に行けるようになったことで、地元での消費が減少する事態を招きました。統計データに見られる販売額の減少は、交通の便が良くなったことで地方の購買力が大都市に吸い寄せられた結果であり、これをストロー現象と呼びます。人口減少や少子高齢化だけでなく、こうした交通網による外部への流出も、地方の消費に大きな影響を与えています。
問5	答え 2 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があった ため。	瀬戸内海に面した兵庫県、広島県、香川県などは、中国山地や四国山地に阻まれて雨が少ない「瀬戸内の気候」に属しています。特に稲作が盛んな地域では、夏場の水不足が深刻な問題となるため、古くから雨水を蓄えておく「ため池」が数多く作られ、農業用水として利用されてきました。
問6	答え 3 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川 県の県庁所在地である。	高松市は瀬戸大橋を通じて岡山県とつながっており、四国のなかでも特に本州との結びつきが強い都市です。他の選択肢はそれぞれ徳島市、松山市、高知市の特徴を述べています。四国地方の学習では、これら4つの県庁所在地の位置関係と、本州とのつながり方（ルート）の違いを理解しておくことが重要です。
問7	答え 3 野菜	高知県は、ビニールハウスを利用した促成栽培によって、なす、ピーマン、きゅうりなどの生産が非常に盛んです。そのため、農業産出額の内訳においては「野菜」の占める割合が全国平均と比較しても極めて高く、県を代表する農業の特色となっています。
問8	答え 2 A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくとつれて標高が下がり平坦になる。	地形図において等高線の間隔が密である部分は傾斜が急であることを示し、間隔が広い、あるいは等高線がほとんどない部分は平坦な土地であることを示します。標高約332mの山地であるA点から港のあるB点へ向かう場合、断面図では始点が高く、終点に向かって急激に下がり、その後、海に近い平坦な線が描かれることになります。
問9	答え 1 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。	瀬戸大橋は、上部に高速道路、下部に鉄道が通る「道路・鉄道併用橋」として建設されました。これにより、自家用車やトラックだけでなく、JRの快速列車や特急列車による迅速な移動が可能になりました。この交通インフラの整備は、本州と四国の経済的な一体化を促進する重要な背景となりました。
問10	答え 2 ストロー現象	交通網の整備により、地方から大都市へのアクセスが向上すると、消費者がより品ぞろえの豊富な大都市へと「吸い寄せられる」ように流出することがあります。この様子を、コップの中の飲み物がストローで吸い上げられる様子に例えてストロー現象と呼びます。利便性の向上が、かえて地方の消費や商業にマイナスの影響を与える側面を説明する際に用いられます。
問11	答え 4 冬の季節風が中国山地に、夏の季節風が四国山地によってさえぎられるため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は北側に中国山地、南側に四国山地が並行して走る地形となっています。冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地によってさえぎられ、夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地によってさえぎられます。それぞれの風が山地を越える際に斜面で雨や雪を降らせるため、山地に挟まれた瀬戸内沿岸には水分を失った乾燥した空気が流れ込むことになり、年間を通じて降水量が少なくなります。